

解答範囲は、解答番号

1

 から

28

 までです。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(注) ○截然Ⅱ区別のはっきりとしているさま。 ○金子Ⅱ金子明友。日本の体操選手。一九五二年ヘルシンキオリンピックに出場。一九二七―二〇二四。町田はここで金子の著書『わさの伝承』(明和出版、二〇〇二年)に言及している。 ○ミシェル・フーコーⅡフランスの哲学者、歴史学者。一九二六―一九八四。 ○アルゴリズムⅡある特定の問題を解いたり、課題を解決したりするための計算手順や処理手順のこと。 ○帰納Ⅱ個々の具体的な事例から一般に適用するような原理・法則などを導き出すこと。 ○アーカイブⅡ大量の記録や資料をまとめて保管したもの。 ○ビッグデータⅡ膨大かつ多様で複雑なデータのこと。

(町田樹「スポーツをめぐる技術的進歩史観の転回」による)

問一 傍線部⑦～⑩にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。

解答番号

1

4

⑦ エンヨウ					① レイソク				
④	③	②	①		④	③	②	①	
塩	艶	援	遠		隸	例	令	靈	
⑧ キョウセイ					② ゾウフク				
④	③	②	①		④	③	②	①	
教	共	叫	嬌		覆	複	幅	副	
⑨					④				

問二 傍線部①「こうした考え方は、現代におけるスポーツ現場の実態にはそぐわない」とありますが、筆者がこのように考える理由として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

5

- ① 技術を分析することで得られる客観的知識と、運動する主体が自ら会得する主観的知識は全く異質なものであるがゆえに、両者の優劣を決めることはできないから。
- ② スポーツは人間本来の運動感覚を競い合うべきものであり、ルールを統一することで、公平な競争環境はいくらでもつくり出せるから。
- ③ アスリートの運動を計測する機械は高性能になり、そこから得られた客観的データや科学的知識は、アスリートの技術習得など様々な場面で役立てられているから。
- ④ 客観的データや科学的知識を集めることが、現代におけるスポーツにおいては重要であり、「自然の身体」を維持することは軽視されているから。

問三 傍線部②「鑑みる」の意味として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

6

- ① 物事を実際の例とくらべて考える
- ② 物事の真偽を見分ける
- ③ 物事の価値を理解し味わう
- ④ 物事を調べて承認する

問四 傍線部③「フーコーの『権力』は、一言では到底説明しきれないような複雑な概念である」とありますが、「権力」の説明として明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号

7

- ① フーコーのいう権力形態の一つである「規律Ⅱ訓練」は、「監視」「規格化」「試験」の三つの手段を用いることで形成される。
- ② フーコーのいう「権力」概念とは、一般的なイメージにある、支配者が被支配者に対して抑圧的で強制的なパワーをふるうものではない。
- ③ フーコーの提唱する「規律Ⅱ訓練」という権力形態は、人間の身体や内面を管理対象として従順な身体をつくりあげるというものであった。
- ④ フーコーのいう「権力」とは、アスリートの主体と客観的知識を完全に分断する生産システムであるとも考えることができる。

問五 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号

8

- ① A そして B しかし
- ② A だが B つまり
- ③ A いわば B さらに
- ④ A すなわち B また

問六 傍線部④「ライバルたちに上下板挟みにされている状況こそが、アスリートにとつての効果的な監視機構になる」とありますが、その理由として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

9

- ① 競技会はアスリートをその技量に応じて徹底的に階層秩序化するので、アスリートが自分自身で競争相手を認識する必要がなくなるから。
- ② 競技会において勝利を獲得し、敗北を避けたいという思いを抱かせることが、アスリートに過酷な練習を継続させる大きな動機となっているから。
- ③ 競技会において能力がある者は上位に、ないものは下位に位置付けられてしまうことで、エリート意識が芽生えやすくなるから。
- ④ 競技会で最下位者になることによって、コーチから怠惰な練習を行っていると思なされ、厳しい指導を受けることになるから。

問七 傍線部⑤「アルゴリズムはスポーツの歴史を常に帰納し続ける」とありますが、その説明として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 10

① アスリートが常に最適解を求めてデータを分析・蓄積することで技術の習得方法や戦術も最適化され、それが「標準」になるということ。

② アスリートの身体やパフォーマンスが科学的法則によって数値化されることで、誰でも同じ動作が再現できるようになるということ。

③ アスリートが動作のタイミングを身体に覚え込ませることで、従来の記録を飛躍的に伸ばすことができるようになるということ。

④ アスリートが蓄積するアーカイブやビッグデータをAIが利用することで、「規格」の制定が非常にゆつくりと行われるようになるということ。

問八 傍線部⑥「『試験』という第三の手段が必要不可欠となる」とありますが、その理由として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 11

① 競技会や計測を行うことで、アスリートは自分の身体能力が数値化され、唯一の評価軸となるから。

② 競技会や計測が存在することで、アスリートは自分がどれほど一般人から逸脱しているのが明らかにされるから。

③ 競技会や計測といった諸機能は、アスリートのライバル関係を階層秩序化された監視網から切り離すものだから。

④ 競技会や計測などによって他者との比較に晒されることで、自らのアスリートとしての存在が可視化されるから。

問九 この文章の内容に明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号 12

① アスリートの「監視」を担っているものとして、彼らを厳しく指導したり厳正に評価したりするコーチやジャッジの存在を挙げることができる。

② スポーツの現場において主観的知識と客観的知識はそれぞれ独立して存在しているわけではなく、互いに接続して影響を与え合っている。

③ アスリートの巧みな技術を計測して得られた客観的データを蓄積していくと、参照すべき「規格」が生まれ、誰もがあの程度のレベルまで達することが可能になる。

④ フーコーのいう「試験」はスポーツ界でいうと、競技会や計測によってアスリートを評価したり区分けしたりする諸機能のことである。

（二） 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(郡司ベギオ幸夫、「いきものとなまもの哲学」による)

- (注)
- ダイナミズムⅡ内に秘めた力強さ、活力。
 - デビッド・イーグルマンⅡアメリカの神経科学者。一九七一。
 - デコラⅡ合板の表面に合成樹脂の薄板を張りつけた化粧板。
 - リトマス試験紙Ⅱリトマスの溶液をしみこませた紙で、酸性・アルカリ性の判別検査に用いる。また、対立する意見などを判定する資料を比喩的に「リトマス試験紙」と呼ぶ場合もある。

問一 傍線部①「B級グルメとは……一つである」とありますが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 13

- ① 脇役が味の主役になかねないB級料理の在りようは、区別の余地を残しつつ混同が生じるという生命のダイナミズムを、分かりやすい仕方で伝えてくれる事例だから。
- ② 部分による全体の略奪の典型例ともいっべきB級料理は、内側から変化を促し、全体の様態を変えつつ完成に向かう生命のダイナミズムを如実に示すケースだから。
- ③ 脇役の使い方次第で目指すべき味が変わるB級料理は、具体例と抽象的理念との重なりという、生命を特徴づけるダイナミズムに最も合致するケースの一つだから。
- ④ 脇役が主役以上の存在感を発揮するB級料理の不思議さは、集合的全体から機能的全体が発生するという、生命に特有の謎めいたダイナミズムを物語る典型例だから。

問二 空欄 a 〃 d のいずれかに次の括弧内の一文が入ります。挿入すべき位置として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 14

「あなたの認知システムは、まさに生命の定義を満たしている。」

- ① a ② b ③ c ④ d

問三 傍線部②「共感覚的現象」とありますが、その具体例として最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 夜空に光る数限りない星々は、時に人の形、また時には動物や植物の形と、様々なイメージを見る者に与えられる。
- ② 志の高い芸術家は、あるべき芸術作品のイメージと、実際に自分が作り上げた作品との出来の違いに思い悩むものだ。
- ③ ブラームスの交響曲を聞いていると、豊かな甘みをたたえた大海原を縦横無尽に泳いでいるような夢見心地になる。
- ④ 伝統的な日本料理の店では、味だけでなく、見た目でも楽しめるような複雑な趣向を凝らした料理を堪能できる。

問四 傍線部③「脳と意識の関係……開設されることになる」とありますが、その理由として最も適切なものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 機能的全体である意識がどうやって生まれ、しかも意識がいつ、一種独立した存在として脳という神経細胞の集合を解釈・観測し始めるかという問題は、いまだに謎に満ちた問題であるから。
- ② 神経細胞の集合である脳から生まれた意識が自身の独立性を主張することは、部分の全体的な集まり自体がこの集まりと矛盾する別の全体を発生させるという、奇妙な事態を示しているから。
- ③ 単純で機械的な部品ともいっべき神経細胞が集合した結果として脳あるいは意識という全体が現れるプロセスには、科学的にもいまだ解明できていない、謎の部分が多く残されているから。
- ④ 常識的に考えれば部分の集合が全体であり、全体は部分に還元可能であるはずなのに、意識という機能的全体は神経細胞という部分とも、またその集合でもある脳とも無関係に現れるから。

公募推薦入試〔総合評価型〕

国語(11月29日)

上 傍線部④「A級」・⑤「B級」とありますが、料理に関して筆者が考える両者の違いについて、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号
17

① B級と違いA級は、鰻の蒲焼や泥鰌の丸煮にかけられる山椒が物語るように、部分（＝山椒）が集合的全体にうまく調和し全体の基調をなしている。

② B級と違いA級は、唐辛子や山椒のきいた麻婆豆腐などに、主役にせよ脇役にせよ、より高いレベルで洗練された味を提供できている。

③ A級と違いB級は、よい意味で部分がまだ全体に溶け込まず、全体の味わいのの中に様々な部分（＝材料）の風味や感触をも感じさせる仕上がりとなっている。

④ A級と違いB級は、強烈な脇役の存在ゆえに、いまだ全体が安定せず、別の味わいを予感させるような違和感や揺らぎを楽しむことができる。

問六 空欄 X と Y を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい

解答番号 18

① X 用心しながら Y 心ときめかせて

② X 苦笑いをしながら Y ほくそ笑みながら

③ X 啞然としつとも
Y 超然として

④ X 恐れ入りつつも Y 悦に入りながら

問七 傍線部⑥「文法を無視した勝手な句読点を打つ」という表現が示すものについて、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

19

① ソバの味という「全体」を乗っ取ろうと仕掛ける、芥子という「部分」の強引であるが巧妙なダイナミズム。

② 餡かけ焼きソバの伝統的な味に挑戦し、新しい味を提供せんとする、芥子の粗削りだが瑞々しい存在感

③ 焼きソバの構成要素としては末端であるにもかかわらず、食材の中心にとって代わろうとする芥子の猛々しさ。

④ 既存の味つけに相對する存在として、餡かけが整えた焼きソバの調子そのものを揺さぶる芥子の強烈な辛さ。

問八 この文章の内容と明らかに合致しないものを一つ選びなさい。

解答番号
20

① 焼きソバに添えられた辛子の例が物語るように、部分と全体が完全に区分されることなく混ざり合い、より優れた調和を構築してゆく過程があれば、生命の知的進化や発展を考えることはできない。

② 我々の知覚システムは区別を重視することが多く、他方で共感覚者は、異なる質感を同じ水準で知覚することが出来る。が、両者のうちどちらが特殊でどちらが一般的かということは、一概には言えない。

③ 人間の意識や料理の味わいの例にみられるように、機能的全体は集合的全体から生じつつも、同時に、生みの親である集合的全体を超え出るような、より高次で自立した枠組みとして現れる。

④ スイート(甘い)やクール(冷えている)といった形容表現が、味覚や触覚以外の対象に用いられているように、我々の認知システムは、分けるべきものを重ね合わせるような懐の広さを有している。

〔三〕 左の文章は『無名草子』の一節で、ある屋敷の中で女房たちがさまざまな話題について語り合っている様子を、八十歳を過ぎた高齢の尼が書き記したものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

「あまた、世にとりていみじきことなり申すべきはあらねど、^①況こそ、いとあはれるものに侍れ。情けなき武士の柔らぐことも侍り。色ならぬ心のうちあらはすもの、涙に侍り。いみじくまめだちあはれる由をすれど、少しも思はぬことには仮にもこぼれず。殊にはかなきことなれど、うち涙をみなとするは、心にしみて思ふらむほど推し置られて、あはれに心深くこそ思ひ知られ侍れ。亭子の帝の御使にて、公忠の弁の、「泣くを見るこそあはれなりけれ」と詠みけむ、ことわりにぞ侍るや」と言ふ人あれば、また、

「事新しく申すべきにはあらねど、^②この世にとりて第一にめでたくおほゆることは、^③阿彌陀仏こそおはしませ。念仏の功德の様など、はじめて申すべきにならず。『南無阿弥陀仏』と申すは、返す返すめでたくおほえ侍るなり。人の恨めしきにも、世の業のわびしきにも、ものの羨ましきにも、めでたきにも、ただいかなる方につけても、強ひて心にしみくもののおほゆる慰めにも、『南無阿弥陀仏』とだに申しつれば、いかなることもこそく消え失せて、慰む心地することにて侍れ^③。人はいかがおぼざるらむ、身にとりてはかくおほえ侍れば、人の上にも、ただ『南無阿弥陀仏』と申す人は、思ふならむと、心にく、奥ゆかしく、あはれに、いみじくこそ侍れ。『左衛門督公光と聞こえし人、もと見馴れたる宮仕へ人の、異心などつかひけると聞きてのち、たまたま行き違ひて、今はその筋のことなどつかへず、おほかた世の物語・内裏わたりのことばかり、言少なにて、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と言はれて侍りけるこそ、来し方行く先のこと言はむよりも恥づかしく、汗も流れていみじかりしか」と語り人侍りしが、まして後の世のためにかばかり要事にてかたるむ」と言へば、また、

「功德の中に、何事をおかろかなと申す中に、思ふと思ふでなくおぼへさせ給ふは、法華經のおほはしませ。いかに面白くめでたき給物語と言へど、二三遍も見ればなるさきものなるを、これは、千部を千部ながら聞かばにめづらしく、文字ごとにはじめて聞きつけたらむことのやうにおぼゆるこそ、あましくめでたけれ。一無も無三と仰せられたるのみならず、

「法華」最「第一」とおめれば、事新しくかやうに申すべきにはあらねど、さこそは昔より言ひ伝へたることも、必ずさしもおほえぬことも侍るを、これは、たまたま生まれ合ひたる思ひ出に、ただ逢ひ奉りたるばかりとこそ思ふに、なと、「源氏」とてさばかりめでたきものに、この経の文字の一箇一句おはせざるわ。何事か、作り残し書き漏らしたること、一言も侍る。これのみなむ、第一の難と「X」

⑤ 紫式部が、法華經を読み奉らざりけるにや

「いやや。それにつけても、いと口惜しくこそあれ。あやしのわが歌に、のちの世のためはさるものにて、人のうち聞かむも情けおくれておほえぬべきわざなれば、あながちにしても見奉らまほしくこそあるに、さばかりなりけむ人、いかでかさることあらむ」

など言へば、また、

こそ見えた
Y
」

など言ひはじめて。

〔無名草子〕による

(注) ○色ならぬ 本来自に見えるものでなく、色はないはずの。 ○まめだち さまじめそうにふるまい。 ○亭子の帝
○宇多天皇 平安時代の天皇。 ○公忠の弁 源公忠、平安時代の公卿、歌人。 ○泣くを見るこそあはれなりけれ
しかりけれ」と詠んだ歌をさすされる。『大和物語』百三十三段などに見える逸話。 ○阿弥陀仏 極楽浄土に

いてあらゆる生きものを救済するとされる仏。○念仏〓ここでは、「南無阿弥陀仏」と声に出して唱えること。
○功德〓善行や仏道修行によって身につくすぐれた特性。また、ものごとくで変わるすぐれた効能や恩恵。○左衛門督公光〓藤原公光。平安時代の公卿・歌人。○もと見馴れたる〓かつて愛し合っていた。○異心などつかひける〓他の人に愛情を抱く。○要事〓大切なこと。○法華経〓仏教経典の一つ。平安時代以降一般に広まった。○無二無三〓かけがえない唯一のすぐれた経典である。『法華経』に見える語。○法華最第一〓法華経はあらゆる経典の中で最もすぐれた経典である。『法華経』に見える語。○一偈〓「偈」は仏教経典で韻文の形式をとって記される文のこと。通常は四句で一偈とされる。○道心〓悟りを求める心。

問一 傍線部①「涙こそ、いとあはれるものにて侍れ」とありますが、その理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

21

- ① 涙は、人情の奥深さを理解するのが苦手な武士でも感動すれば自然に流れるものだから。
- ② 涙は、はつきりと見えにくい人の心の中を表すことができるものだから。
- ③ 涙は、人がまじめそうにふるまっている時にはこぼれにくいものだから。
- ④ 涙は、流れる量の多少ではその人が心で何をどう感じているかわからないものだから。

問二 傍線部②「この世にとりて第一にめでたくおほゆることは、阿弥陀仏こそおはしませ」とありますが、その理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

22

- ① 日常生活や人間関係について問題が起こつても、念仏を唱えれば、それらの問題をすぐに解決することができるから。
- ② 日頃から阿弥陀仏を信仰し念仏を唱えていれば、他人を恨んだり妬んだりするような悪い感情が生じないから。
- ③ 阿弥陀仏を深く信仰し念仏を唱えていれば、日々の暮らしの中で大きな問題が起こるのを避けることができるから。
- ④ 日々の暮らしの中で良くも悪くもさまざまな感情を持つても、念仏を唱えれば心を穏やかにすることができるから。

問三 傍線部③「人はいかがおはさるらむ」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

23

- ① あなたはなぜそう思いになるのでしょうか
- ② そう思いにならない人がいらつしやるのでしょうか
- ③ 他の人はどのように思いになるのでしょうか
- ④ 他の人はどのように思いになったか知りたいのですが

問四 傍線部④「その筋のことなどつゆ掛けず」の解釈として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

24

- ① 昔あった恋愛関係についてすっかり忘れてしまった
- ② 昔あった恋愛関係について覚えていた人が全くいないので
- ③ 昔あった恋愛関係のことはさすがに話題にできないので
- ④ 昔あった恋愛関係のことは全く口にも出さないで

問五 空欄

X

 と

Y

 を補うのに、最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号

25

- ① X おほゆる Y めれ
- ② X おほゆる Y める
- ③ X おほゆる Y める
- ④ X おほゆる Y めれ

問六 傍線部⑤「紫式部が、法華経を読み奉らざりけるにや」とありますが、この問いに対して別の女房はどのように答えていますか。その説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

26

- ① 紫式部が法華経を読んでいなかったことは確かであるが、だからといって『源氏物語』という優れた作品を生み出した人物を安易に批判してはならない。
- ② 紫式部が『源氏物語』の中で法華経に触れていないのはとても残念なことであるが、紫式部ほどの人物が法華経を読んでいるとは思われない。
- ③ 紫式部は非常に優れた人物であるため法華経を読んでいなかったはずはなく、『源氏物語』の中ではあえて法華経に触れなかったのだと思われる。
- ④ 『源氏物語』のすばらしさは誰もが認めるところであって、紫式部が法華経を読んでいたか、いなかったかといったことはそれほど大きな問題ではない。

英語									
	日本史								
		世界史							
			政治・経済						
				数学 (文系型)					
					数学 (理系型)				
						物理			
							化学		
								生物	
									正解・正解例 講評
									国語

公募推薦入試〔総合評価型〕

国語(11月29日)

- 問七

この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号

27
- ①

涙について語っている人物は、天皇と自身との過去の経験を踏まえて、この世に存在するものの中で涙が最もすばらしいと言っている。
- ②

阿弥陀仏について語っている人物は、「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることが何よりも大事なことで、人は念仏さえ唱えていればよいと言っている。
- ③

法華経について語っている人物は、法華経はすばらしい絵物語と同じように、どの部分の内容もたいそう面白く、優れたものであると言っている。
- ④

紫式部について語っている人物は、紫式部は来世のことを恐れてひたすら仏に祈るような、とても信仰心の強い人だったように見えると言っている。
- 問八

『無名草子』は、鎌倉時代に成立した作品です。同時代に成立した作品として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

28
- ①

『懐風藻』
- ②

『玉勝間』
- ③

『方丈記』
- ④

『風姿花伝』